

## V2H-充放電器 SDシリーズ 停電時操作方法 SUBARU [12V電源ケーブル]

当資料は、自動で自立運転が開始しなかった場合、手動で自立運転を開始するための操作方法を説明しています。

以下3条件のいずれかが該当する場合、自動で自立運転が開始されません。

- ・「自立運転切替設定」が無効
- ・停電した時点で充放電コネクタがコネクタロックされていない
- ・V2H-充放電器の電源が入ってから、30分以上継続して接続されていない

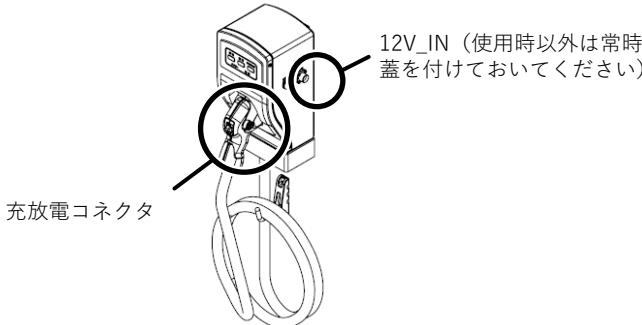
※車両側の詳細操作および注意事項につきましては、車両の取扱説明書を参照願います。末尾の車種別注意事項もお読みください。

## 1. 給電開始の手順

## CHECK

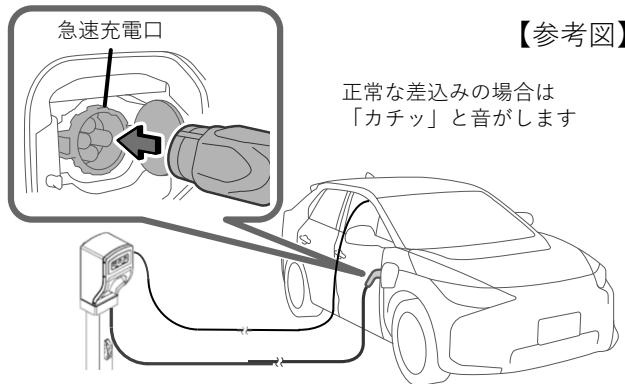
- ・「シフトポジション」が「P」になっていること
- ・「パワースイッチ」が「OFF」になっていること
- ・「パーキングブレーキ」が確実にかかっていること

1 「プラグホルダ」右側面の「12V\_IN」の蓋を左に回して外し、「12V電源ケーブル」を接続する。



※停電発生時にプラグホルダのLEDが赤く光りますが、停電検知の表示であり、数秒で消えます。また、アプリ、リモコンの「運転履歴」にエラーコード51、52などが残りますが問題ありません。

2 車両の「急速充電口」に、「充放電コネクタ」を奥までしっかりと挿し込む。



※急速充電口の位置や仕様は車両により異なります

3 「アクセサリーソケット」のフタを開き、「12V電源ケーブル」を接続する。

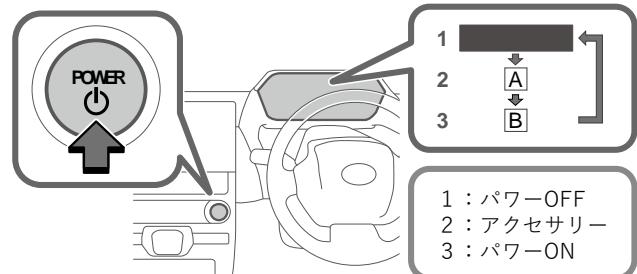
## 【参考図】



※右上へ

4 ブレーキペダルを踏まずに、パワースイッチを押してACC (アクセサリー) ONにする。

## 【参考図】



※アクセサリーモードは、車両のパワーがOFFでヒーターなどが使えるモードです。切替え方法、操作ボタン場所等は車両により異なります。

5 自立運転を開始する。

## 【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・プラグホルダの各LEDが点滅から消灯するまでお待ちください。
- ・消灯後、「放電」ボタンを押します。
- ・自立運転を開始すると、「放電」LEDが点灯します。



## 【室内リモコンの場合】

- ・「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・「操作メニュー」で「放電開始」をタッチします。
- ・放電を開始すると、本体状態が「自立運転中」になります。



6 準備が完了し給電可能となる。

使用する電気設備の電源を入れてください。

7 アクセサリーモード（車両電源）をOFFにする。

※アクセサリーモードOFFの方法は車両により異なります。  
(例：ブレーキを踏まずに「パワースイッチ」を2回押すなど)

8 12V電源ケーブルを車両、プラグホルダから外す。

## II. 給電停止の手順（停電中に運転停止する場合）

### 【プラグホルダ（操作パネル）の場合】

- ・「放電」ボタンを押します。
- ・「放電」LED が点滅します。
- ・自立運転が停止すると、「放電」LED が消灯します。

### 【室内リモコンの場合】

- ・「状態」画面でメニューアイコンをタッチします。
- ・「操作メニュー」で「停止」をタッチします。

### 【スマホアプリの場合】

- ・「コネクタロック解除」をタッチすると運転が停止し、コネクタロックが解除されます。

※「放電停止充電率」または車両が定めた充電率に達したときは、放電を自動で停止します。

## III. 自立運転中、過負荷によりV2Hが停止した場合の復旧手順

- ・V2H-充放電器の定格電力「6kVA未満（片相3kVA未満）」を超えて電力を使用した場合に、給電が停止し停電状態となります。この場合、負荷を定格電力以下とすることで自動的に自立運転が復旧します。
- ・ただし、停止から数分（2~3分程度が目安）経過すると自動での復帰は出来なくなります。その場合は下記手順にて復旧準備を実施してください。

1 給電停止前に使用していた電気機器等のスイッチをOFFにする。

2 車両の「急速充電口」から「充放電コネクタ」を取り外し、再度挿し込む。

3 1.給電開始の手順②～を再度行う。

4 **自立運転を再開**する。

※過負荷に注意し、電気製品のスイッチを入れてください。

## IV. 停電終了（復電）時

- ・停電が復旧すると自立運転は動作を停止し、宅内に商用電源から電力供給されます。
- ・停電が復旧してから最大5分間は、【異常】以外のLEDが点滅しV2H-充放電器を操作することができません。
- ・LED消灯後、V2H-充放電器を操作できます。